

令和3年度第1回光市環境審議会（書面開催）にかかる
委員から提出された意見等の取り纏めについて（報告）

1 会議の名称

令和3年度第1回光市環境審議会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催といたしました。

2 開催日

令和3年8月26日

3 役員選任

会長に南委員、副会長に有竹委員を選任

4 議事及び提出意見等

(1) 議事

- ア 令和3年度環境関連施策（プロジェクト関連事業）について
- イ 「第2次光市環境基本計画」の取組状況について
- ウ 第3次環境基本計画策定方針について
- エ その他

(2) 委員から提出された意見等

- ア 令和3年度環境関連施策（プロジェクト関連事業）について
 - ・エコまる・ライトダウンチャレンジはとても良い試みだと思うが、実施時期が12月なのはなぜか。
 - ・アルゼンチンアリに関して、他地区への拡散防止のため集中的に行うべきである。
 - ・省エネ生活普及促進事業について、市民が事業継続を支援するための判断材料として、補助した金額と補助を受けた人の電気使用量削減効果などの「費用対効果」を明示していただきたい。
 - ・省エネルギー運動推進事業について、市役所が率先して始めた「チャレンジCO2削減庁用自転車」の実施状況を公開していただきたい。
 - ・電気自動車用急速充電器を、市民が良く利用するショッピングセンターに配備するなど、民間活力の導入も考えてはどうか。
 - ・エコまる・ライトダウンチャレンジについて、参加の呼びかけ等に効果的な広報を実施するため、適切な予算が必要ではないか。
 - ・日本の森・滝・渚全国協議会関連事業について、これまでどのような具体的成果が上がっているのか。
 - ・自然敬愛都市宣言のまちPR事業について、啓発ポスターや横断幕等を掲げるなど、市民の意識を高める取組が必要ではないか。
 - ・特定外来生物対策事業について、アルゼンチンアリの一斉防除効果のモニタリング調査結果を市民に開示して欲しい。また、トビイロウンカもこの事業の対象に加えてはどうか。

- ・家庭用生ごみ処理機等の補助実績が少ないが、目標数はどうなっているのか。
- ・雑がみ再資源化などについては、数値目標を置いて進捗管理してはどうか。
- ・リユースキッズは「おっぴい都市宣言」にふさわしい事業実績が挙がっていると思う。
- ・環境学習の参加者で、小学校の実績があるが中学校の実績がないので、今後実施されることを期待する。
- ・ゴミ分別アプリのダウンロード数が前年度より大幅に増加するとともに、外国人への情報提供も行っているなど、事業を有効に実施しているものとする。

イ 「第2次光市環境基本計画」の取組状況について

- ・有害鳥獣の捕獲をより積極的に行っていただきたい。

ウ 第3次環境基本計画策定方針について

- ・計画の実効性を上げるため、各施策に市民一人ひとりが取り組み、市がそれをサポートできるものとするため、骨子案が固まるまでに環境審議会を複数回開催して欲しい。
- ・地球温暖化対策について、実行が伴わない計画にならないよう「目的に対する手段が具体的で成果の評価が的確にできる」、「市民一人ひとりが参画できる」などを考慮する必要がある。
- ・市のCO₂排出量の9割を企業が占める中、排出削減対策が評価されにくい企業からの排出量の算出方法に「生産量などの単位活動あたりCO₂排出量」を併用してはどうか。
- ・SDGsの17の目標の中から、これまでの環境基本計画の取組と密接に関係している目標に関連付けた計画の構成が望ましい。
- ・計画策定が着実に行えるよう、環境審議会でSDGsに関する勉強を行ってはどうか。
- ・計画の終期が2032年となっていることから、SDGsの実行期間である2030年以降も有効な計画となるよう、リーディングプロジェクトでポストSDGsを検討してはどうか。

エ その他

- ・虹ヶ浜海水浴場の沖合300～400m地点や終末処理場（周南浄化センター）付近など、水質調査地点を増加して欲しい。特に、処理場に使用される薬品について重点的に調査して欲しい。
- ・公共施設のLED化等について、前後の電気料金差を公表すると市民の関心が高まるのではないかと。また、太陽光発電等では、個人または事業者の初期投資額と回収期間、その後のメリットなどがアナウンスされると、導入に向けた検討が進むのではないかと。
- ・環境審議会に提出する資料について、今回のように事前に配布して欲しい。